

## 人を対象とする医学系研究に関する公開情報

研究機関名：筑波メディカルセンター病院

倫理審査承認日：H30年4月24日
研究課題名：胃がん術後患者の自己効力感・QOL・症状の関係に対する縦断的研究 研究期間：倫理審査承認後～2018年9月までを調査期間とし、2024年3月までに結果の公表を終了とする。
研究対象：手術を終了し外来通院予定の20歳以上の胃がん術後患者
対象材料 <input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名            ） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名            ） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/> その他（調査用紙によるアンケート） 上記材料の対象期間 倫理審査承認後～西暦2024年3月
意義・目的： 胃がんで手術を受けられた方は、胃切除術や化学療法に伴う様々な症状を体験しています。その症状をご自身が上手にコントロールし、QOLを維持・回復させるには、術後早い時期から適切な症状管理を実践していくことが大切です。そのために、胃がんで手術を受けられた方を対象に、自覚症状や健康に関する事柄、症状管理の自信などについての関係を丁寧に調査します。その結果に基づいて、胃がんで手術を受けられた方々に対して、手術後のよりよい生活を送っていただくための具体的な看護援助について検討します。
方法： 1. 本研究では、胃がんで手術を終了し外来通院予定の方々を対象に、アンケート用紙を用いて、自覚症状や健康に関する事柄についてお尋ねします。この調査に参加されるかどうかは、皆様の自由な意思にお任せいたします。たとえ、お断りになったとしても、今後の治療や診療等に不都合が生じることや不利益を受けることはありません。また、調査票を返却しない場合もしくはアンケート送付後も同意撤回書の提出によって同意を取り消すことができます。 2. 参加協力に関する依頼は、入院中にいたします。アンケートへの回答は、退院後にご自宅で回答いただき、術後1ヶ月と6ヶ月の2回お答えいただきます。アンケートへは無記名で回答し、返信用封筒に入れてポストに投函していただきます。本研究は、当院の他に2つの総合病院で同時期に実施されています。すべての調査用紙は、共同研究者が所属する機関（筑波大学）に送付され、その内容は個人が特定されない整理番号や統計的手法によって厳重に管理されるため、ご本人が特定されることは一切ありません。調査結果に関する結果の検討は、本研究にかかわる研究者全員で行います。また、研究終了後は、本研究に関するデータは全て施錠された専用ロッカーで厳重に管理します。
問い合わせ等の連絡先 筑波メディカルセンター病院 3E病棟師長 外塚 恵理子・PCU 福本 純子 (代表番号 029-851-3511)